

7. 障害者、在日韓国・朝鮮人、女性等の人権の実態について

(1) 障害者問題について

問 17 あなたは、障害のある人の人権や現在の状況について、どのように思いますか。
次の各問について、あなたの考えにいちばん近いものに、一つだけ○をつけてください。

問 17-1 医療体制や福祉施設の面で、不十分な実態があると思う。

問 17-2 就労の機会が少なく、また職種も限られるなど、就労の面で、不十分な実態があると思う。

問 17-3 障害者問題についての教育や研修を今までに受けたことがありますか。

図 97. 障害者の医療体制や福祉施設の面で不十分な実態への認識

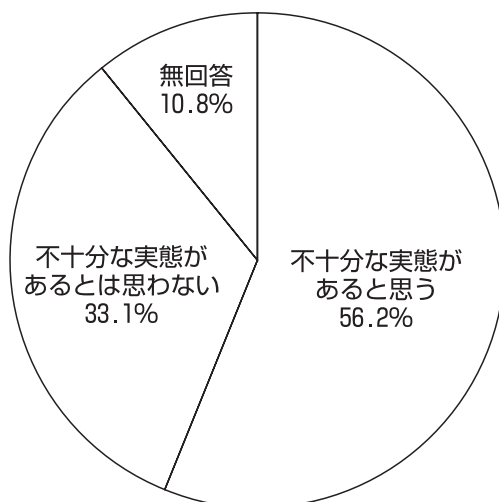


図 97 は、障害者の医療体制や福祉施設の面で不十分な実態への認識をみたものである。
「不十分な実態があると思う」56.2%、「不十分な実態があるとは思わない」33.1%となっている。

図 98. 障害者の医療体制や福祉施設の面で不十分な実態への認識—職業別

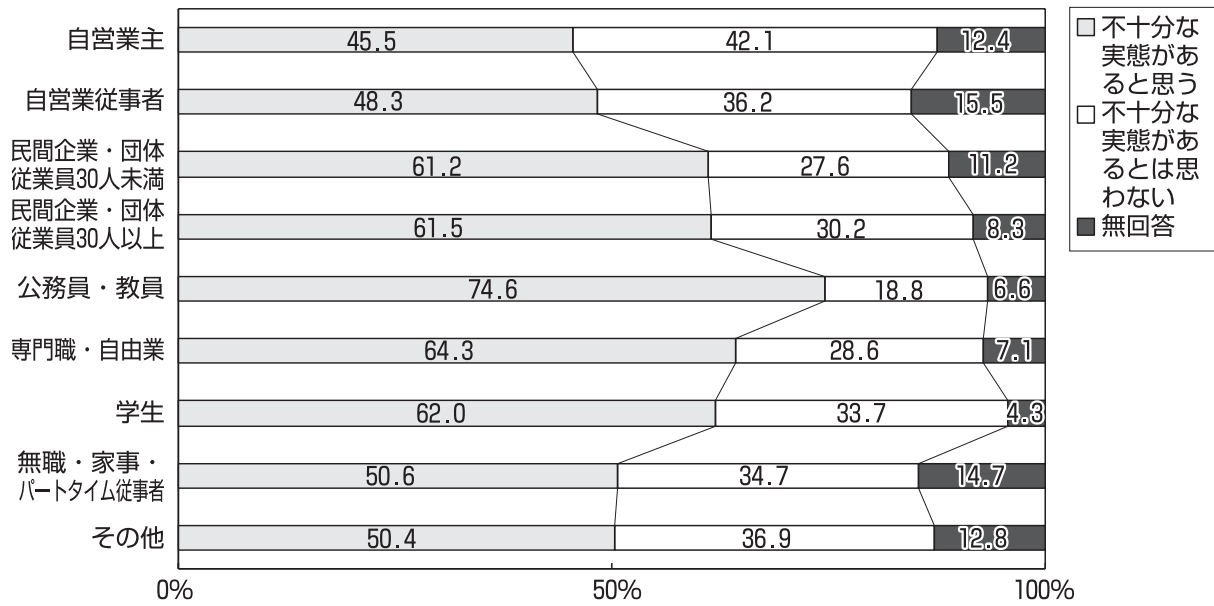


図 98 は、障害者の医療体制や福祉施設の面で不十分な実態への認識を職業別にみたものである。「不十分な実態があると思う」は、「公務員・教員」74.6%となっており、6割を超えているのは、「民間企業・団体（従業員 30 人未満）」61.2%、「民間企業・団体（従業員 30 人以上）」61.5%、「専門職・自由業」64.3%、「学生」62.0% の 4 つの職種となっている。他の職種は 5 割前後となっている。

図 99. 障害者の就労面での不十分な実態への認識

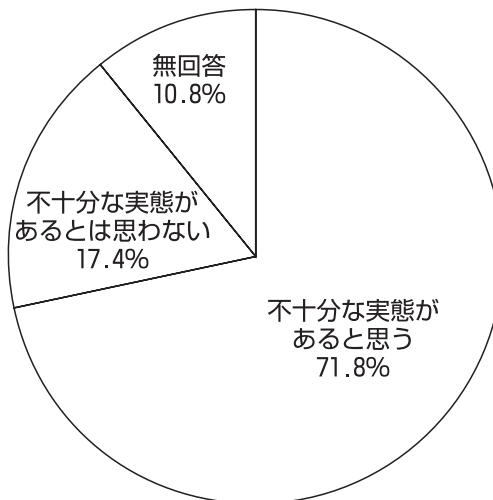


図 99 は、障害者の就労面での不十分な実態への認識をみたものである。「不十分な実態があると思う」71.8%、「不十分な実態があるとは思わない」17.4% となっている。

図 100. 障害者の就労面での不十分な実態への認識－職業別

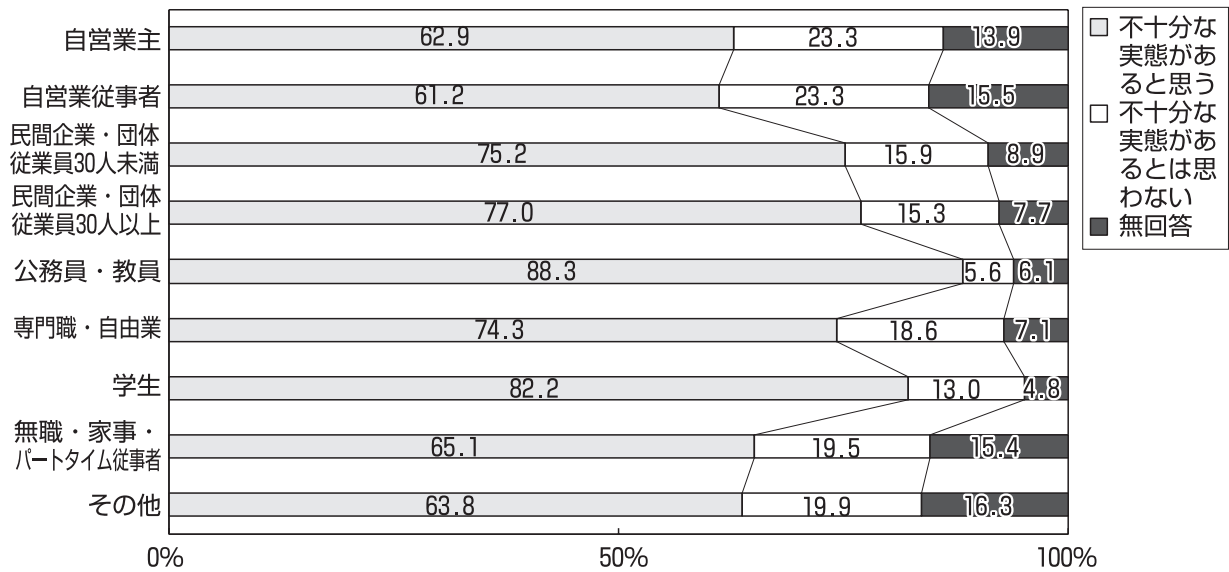


図 100 は、障害者の就労面での不十分な実態への認識を職業別にみたものである。「不十分な実態があると思う」は、「公務員・教員」88.3%、「学生」82.2%と8割を超えており、その他の職種は、6割～7割となっている。

図 101. 障害者問題についての教育や研修への参加の有無

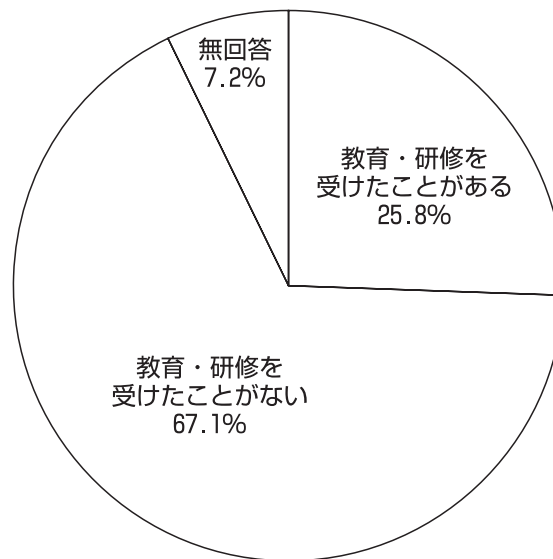


図 101 は、障害者問題についての教育や研修への参加の有無をみたものである。「教育・研修を受けたことがない」は、67.1%となっている。今後、障害者問題についての教育・研修を受ける機会の提供が必要ではないかと思われる。

図 102. 障害者問題についての教育や研修への参加の有無－職業別

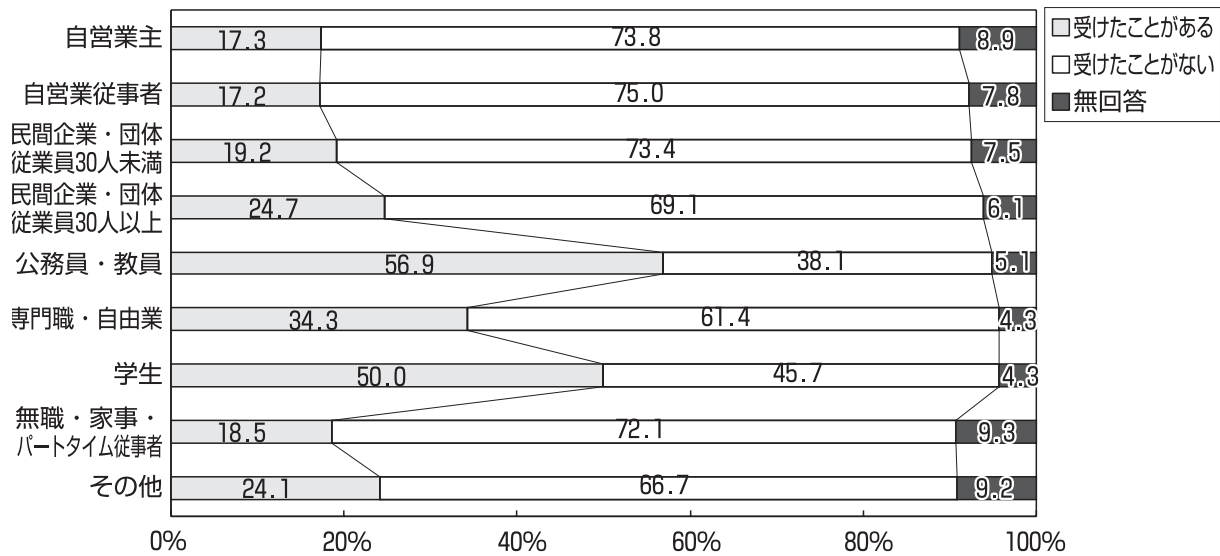


図 102 は、障害者問題についての教育や研修への参加の有無を職業別にみたものである。「受けたことがある」は、「公務員・教員」56.9%、「学生」50.0%となっている。他の職種は、おおむね2割前後～3割となっている。

図 103. 障害者の人権の現状認識と教育・研修経験の有無－校区別

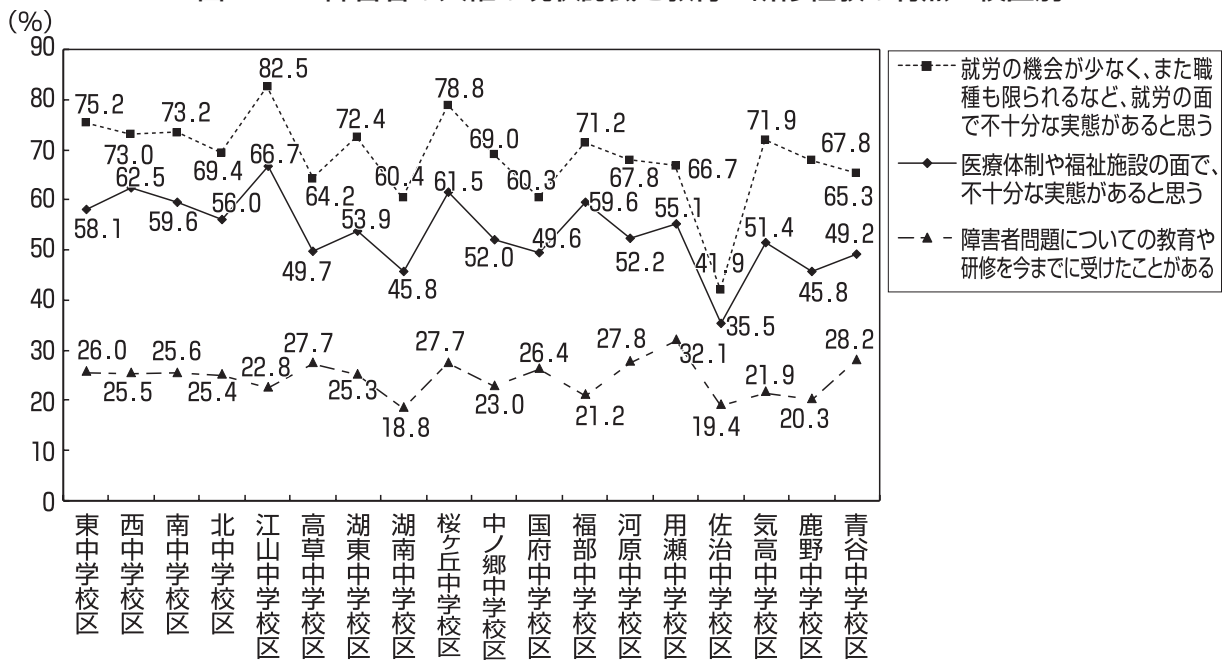


図 103 は、障害者の人権の現状認識と教育・研修経験の有無を校区別にみたものである。「医療体制や福祉施設の面で、不十分な実態があると思う」は、おおむね4割～6割となっている。「就労の機会が少なく、また職種も限られるなど、就労の面で、不十分な実態があると思う」は、おおむね6割～8割となっている。

(2) 在日韓国・朝鮮人問題について

- 問 18 日本に住んでおられる在日韓国・朝鮮人の人権についてお聞きします。次の各問について、あなたの考えにいちばん近いものに、一つだけ○をつけてください。
- 問 18-1 年金や福祉などの生活に関わる制度が、日本人と同じように適用されていると思いますか。
- 問 18-2 小中高校における民族教育や大学進学が完全に保障されていると思いますか。
- 問 18-3 就労に関して、就職や仕事の内容、待遇などで、不利な条件におかれていることがあると思いますか。
- 問 18-4 在日韓国・朝鮮人問題についての教育や研修を今までに受けたことがありますか。
- 問 18-5 あなたは、現在日本に住んでいる韓国・朝鮮人の多くが、過去の日本と他のアジア諸国との歴史的な経緯によって、戦後、日本で暮らすことになった人々やその子孫であることを知っていますか。

図 104. 在日韓国・朝鮮人の年金や福祉などの生活に関わる制度について

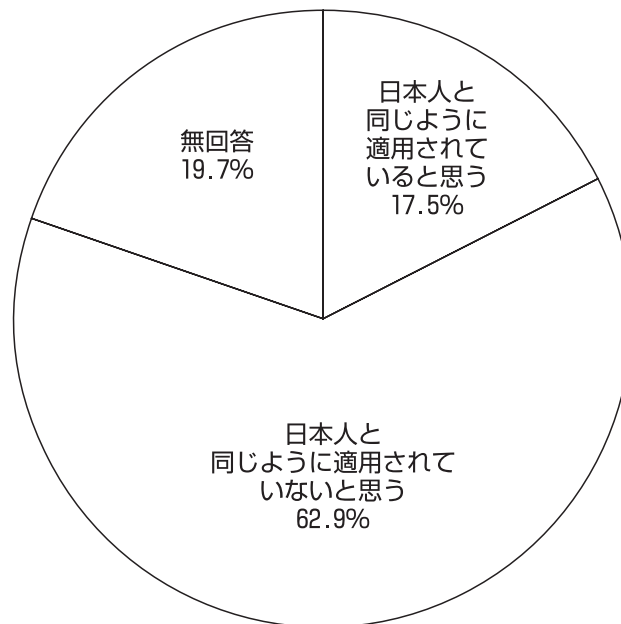


図 104 は、在日韓国・朝鮮人の年金や福祉などの生活に関わる制度についてみたものである。「日本人と同じように適用されていると思う」17.5%となっており、「日本人と同じように適用されていないと思う」62.9%となっている。

図 105. 在日韓国・朝鮮人の小中高校における民族教育や大学進学完全保障について

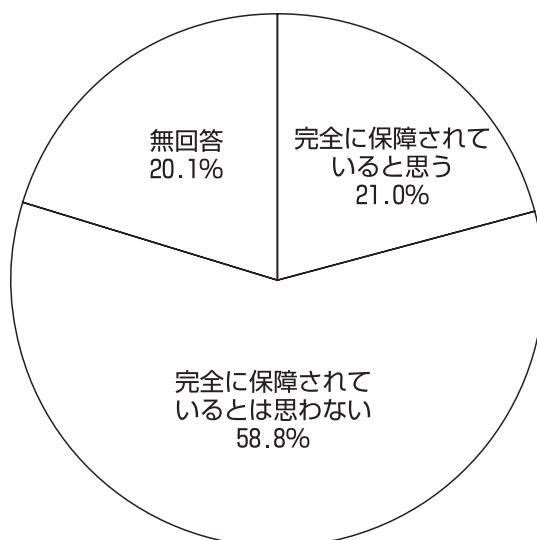


図 105 は、在日韓国・朝鮮人の小中高校における民族教育や大学進学完全保障について見たものである。

「完全に保障されていると思う」21.0%となっており、「完全に保障されているとは思わない」58.8%となっている。

図 106. 在日韓国・朝鮮人の就労において不利な条件におかれていることの認識

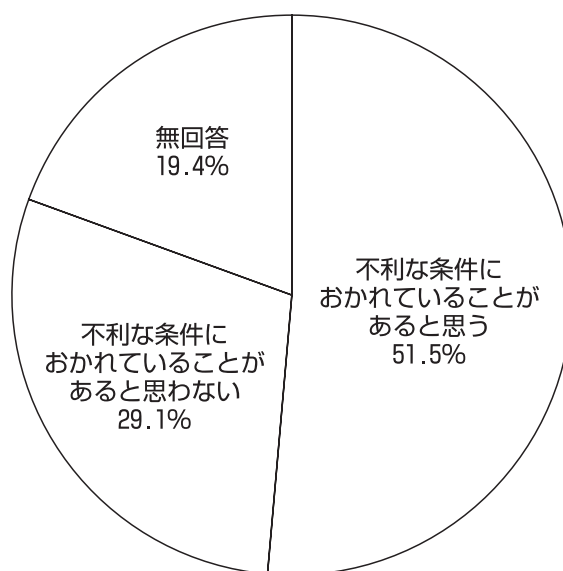


図 106 は、在日韓国・朝鮮人の就労において不利な条件におかれていることの認識をみたものである。「不利な条件におかれていることがあると思う」51.5%となっており、「不利な条件におかれていることがあると思わない」29.1%となっている。

図 107. 在日韓国・朝鮮人問題についての教育や研修への参加の有無

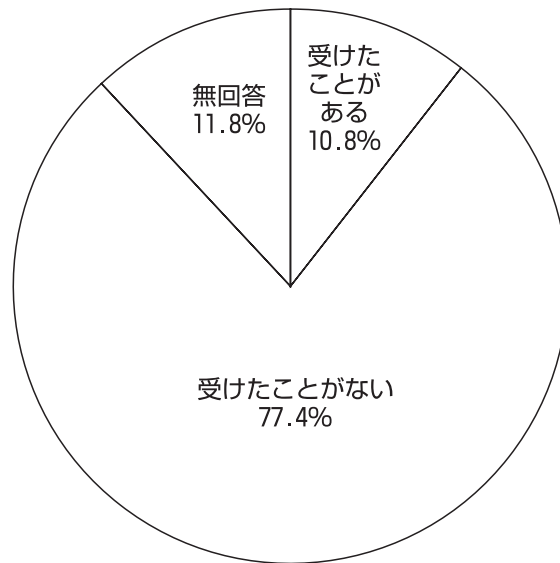


図 107 は、在日韓国・朝鮮人問題についての教育や研修への参加の有無をみたものである。「受けたことがある」10.8%となっており、「受けたことがない」77.4%となっている。

図 108. 在日韓国・朝鮮人の歴史的な経緯の認知について－性別

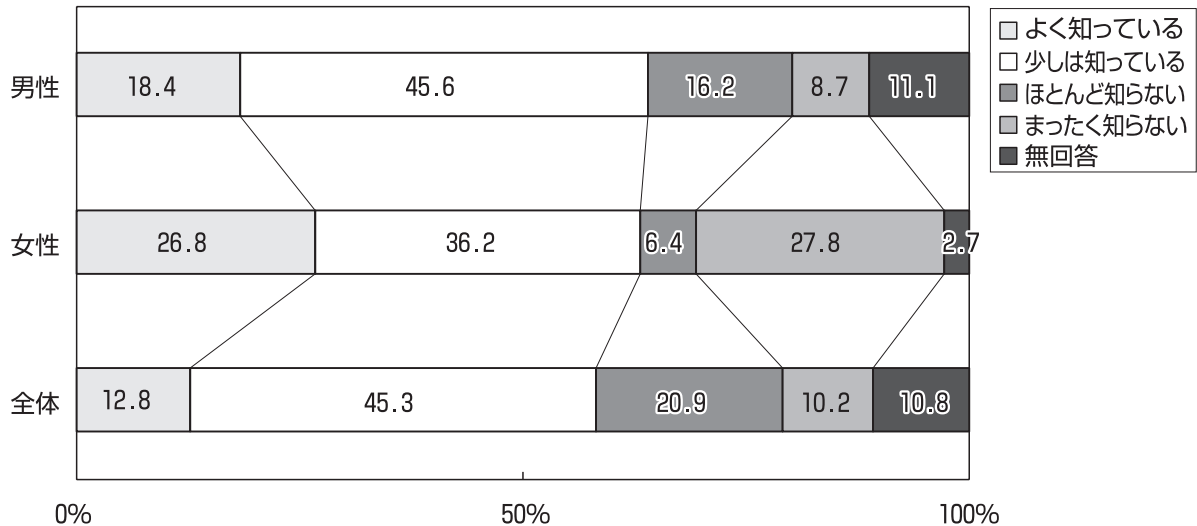


図 108 は、在日韓国・朝鮮人の歴史的な経緯の認知について、性別にみたものである。

在日韓国・朝鮮人の多くが、日本で暮らすようになった歴史的な経緯を「よく知っている」12.8%、「少しは知っている」45.3%、「ほとんど知らない」20.9%となっている。

次に、「よく知っている」は、男性18.4%、女性26.8%となっており、女性が8.4ポイント多くなっている。

図 109. 在日韓国・朝鮮人の歴史的な経緯の認知について－職業別

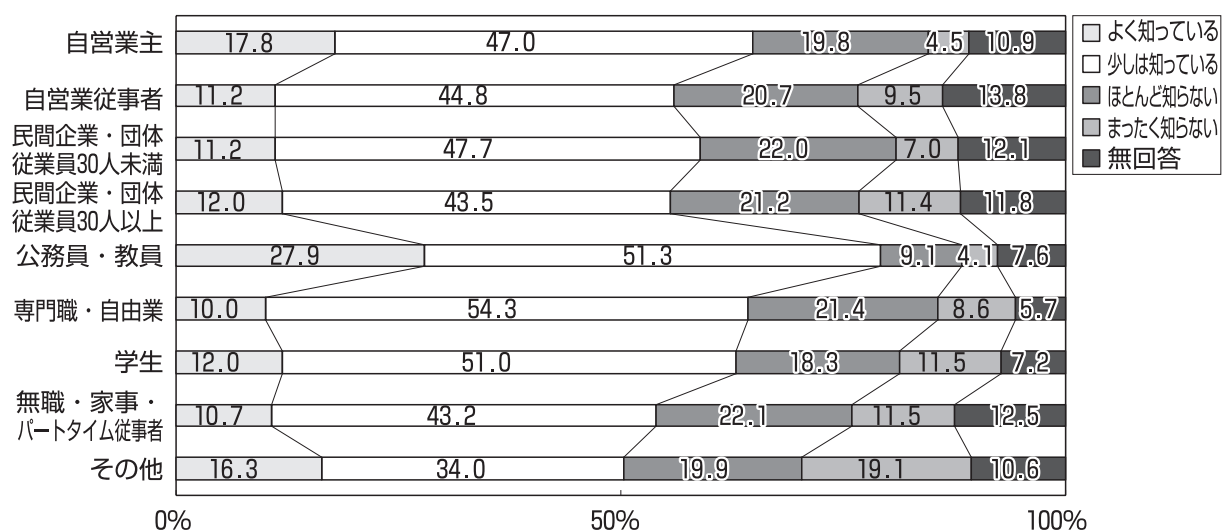


図 109 は、在日韓国・朝鮮人の歴史的な経緯の認知について職業別にみたものである。

「よく知っている」は、「公務員・教員」27.9%となっており、他の職種はおおむね1割～2割弱となっている。

また「よく知っている」と「少しは知っている」を合わせると、「公務員・教員」を除き5割～6割となっている。

(3) 女性の差別・人権侵害の認知について

問 19 あなたは現在、日本の女性がどのような場面で差別をされたり、人権侵害を受けていると思いますか。主なものに3つ以内で○をつけてください。

図 110. 女性の差別・人権侵害実態の認知状況—性別（3項目選択）

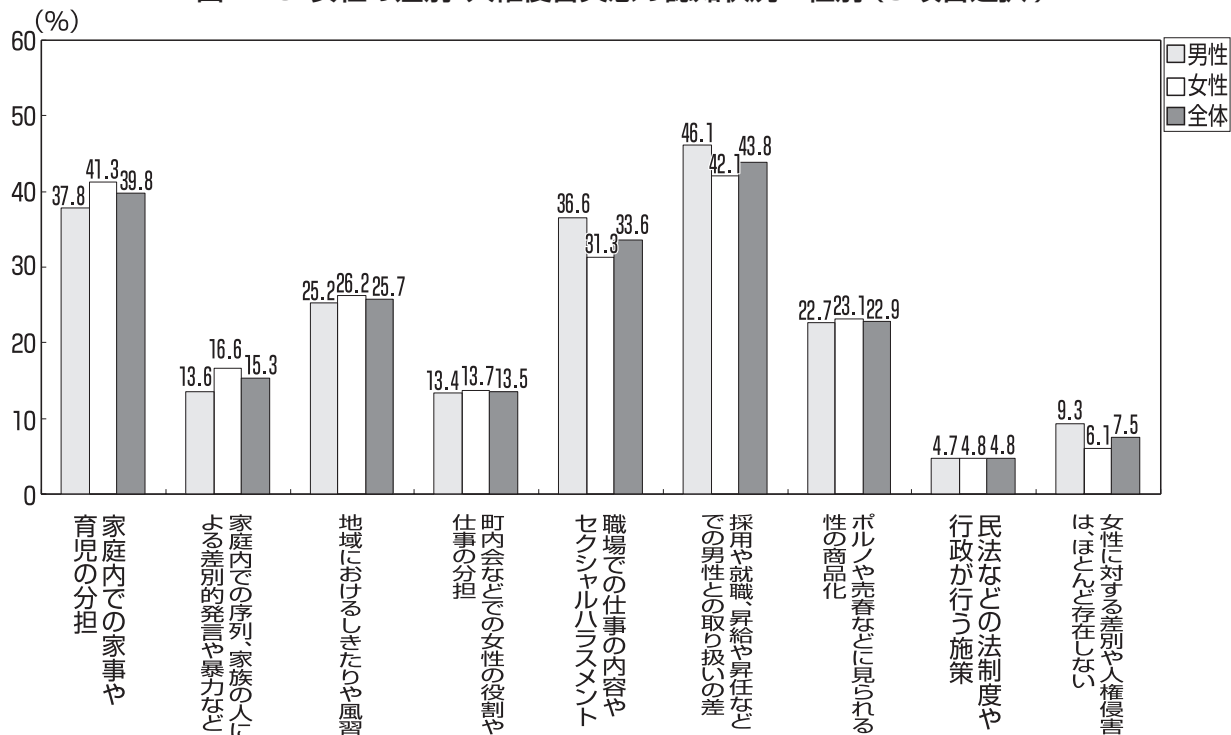


図 110 は、女性の差別・人権侵害実態の認知を性別にみたものである。

もっとも多いのは、「採用や就職、昇給や昇任などでの男性との取り扱いの差」は 43.8%、性別では男性 46.1%、女性 42.1% となっている。

次に、「家庭内での家事や育児の分担」は 39.8%、性別では男性 37.8%、女性 41.3% となっている。

「職場での仕事の内容やセクシャルハラスメント（性的いやがらせ）」は 33.6%、性別では男性 36.6%、女性 31.3% となっている。

図 111. 女性の差別・人権侵害実態の認知状況—職業別

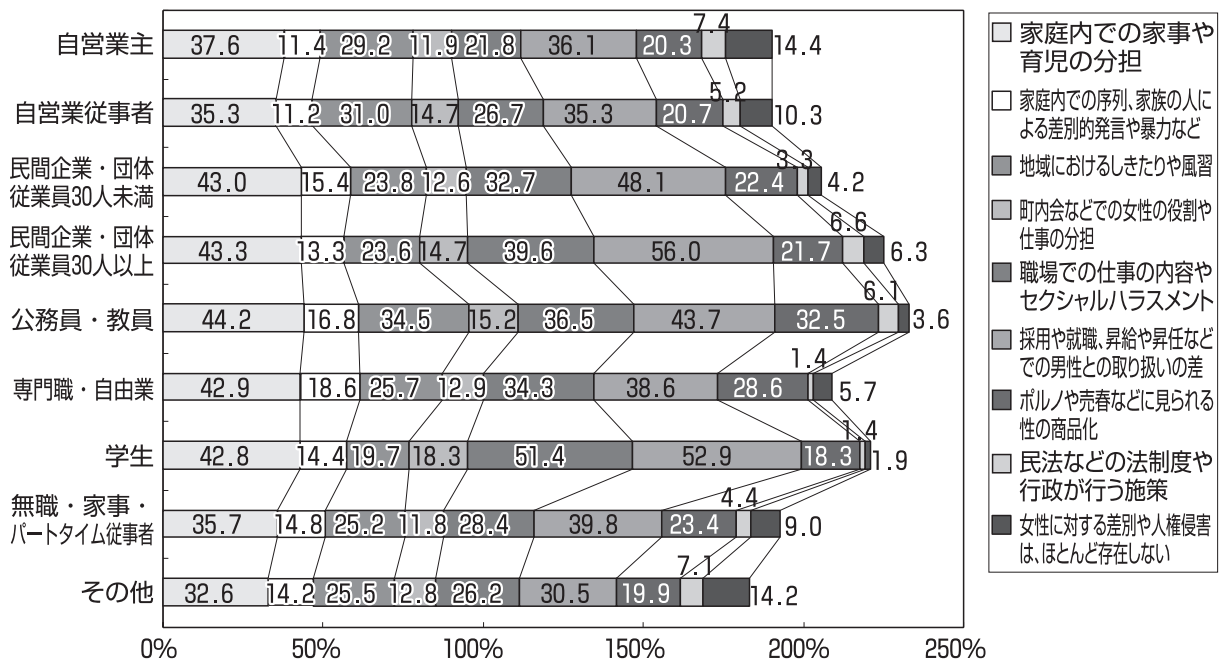


図 111 は、女性の差別・人権侵害実態の認知状況を職業別にみたものである。

「家庭内での家事や育児の分担」は、3割から4割となっている。

「職場での仕事の内容やセクシャルハラスメント（性的いやがらせ）」は、「学生」51.4% となっている。

「採用や就職、昇給や昇任などでの男性との取り扱いの差」は、「民間企業・団体（従業員30人以上）」56.0%、「学生」52.9% となっている。

「女性に対する差別や人権侵害は、ほとんど存在しない」が、職種によって2%から15% となっている。